

・杉並区立中瀬中学校 学校運営協議会だより【令和5年7月】・

中瀬中学校 学校運営協議会

会長 唐澤 弘子

・令和5年7月10日学校運営協議会の概要・

1. 活発な時期である6~7月にかけての学校の様子や予定などを伺い、意見交換をしました。

- ① コロナ感染生徒が数名おり明らかな拡大ではないものの油断出来ない状況、予防に慎重な注意が払われています。生徒の8割ほどがマスクを着用、先生方は状況を見ながら判断しているようです。
- ② ・「中瀬の歴史振り返り」(6/29)は、70周年時の資料に生徒会が5年間分を追加して作成し好評
・ボランティア活動では、下井草子ども夏祭り・レスキュー隊でそれぞれがリーダーシップ発揮し活躍、桃五小盆踊り・中瀬フェスタにも多くのボランティアが集まっています。
・SDGsのグループワーク(7/7)はファシリテーターとゲスト講師（新聞記者=八成小元保護者）を交え、上級生が1年生にこれまでの取り組みを説明するなどで理解が深められたようです
・修学旅行発表会の内容が好評、新3年生の成長を感じられたようです
・生徒からの提案により参加している「ユニクロ：世界の困っている人たちに衣服を届ける活動」では、ユニクロ下井草店長による説明と動画が好評、生徒は感銘を受けたようです。
- ③ 土曜授業(7/8)が活発でした。
 - ・卒業生の話を聞く会(2・3年生対象)(バスケ部 吹奏楽部 野球部出身の3名が参加)では、部活と勉強の問題など経験に基づいての本音の話が生徒の参考になった様子
 - ・社会保険労務士講座(2年生対象)では、職業全般に詳しい講師による例え給料明細についての説明など生徒にとっては興味深い内容
 - ・PTA主催高校説明会には8校が参加し盛況、特に職業系校による説明では 参加者は余り多くはないものの極めて真剣かつ具体的質疑が有り、参加当該校は反応を喜んでいたようです。

2. 生徒に貸与のタブレットの故障の多さ・予備機の不足・修理期間の長さなどで 授業への支障が顕在化しているようです。当校はタブレット導入のトップランナー校、コロナによる授業オンライン化が利用頻度に拍車をかけた面も有り、何れ区内全校が直面するであろう問題が早めに現れています。財源裏付などの問題も有り現時点で解消の見込みが無く先行きも不透明、校長会などでも議論が有るようです。活用のブレーキにならぬよう関係各位の現状理解と、長期的展望に基づく対応策を強く期待します。

3. 校舎建設工事完了時期の変更=新校舎運用開始令和7年9月→令和8年1月=についての保護者宛文章が教委事務局から出されました(7月11日付)。現1年生が新校舎で学習出来るのは3年生最後の第3学期3か月のみになり、部活などの近隣校借用も延長されることになります。

【追記】 運営協議会終了後 生徒会役員(6名)との懇談交流会を開きました。(詳細省略)

3グループに分かれて自由に意見交換、CS委員には生徒会の新たな課題の見つけ方・合意への道筋・立候補のきっかけなどが理解でき、生徒会役員には運営協議会を理解する機会になったのではと思います。学習・部活と両立させながら意欲的に活動に取り組んでいる役員生徒にエールを送りたいと思います。

以上

【運営協議会予定】 次回 ・9月25日(月) 15:00~

- ・10月16日(月) 15:00~
- ・12月18日(月) 14:30~(16:00~生徒会役員との懇談交流会予定)
- ・令和6年2月19日(月)・3月18日(月) いずれも 15:00~

(CS広報 月刊版)